

# 千葉大学医学部附属病院で BRCA 遺伝子検査を受けリスク低減乳房切除術をされた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年3月25日

千葉大学医学部附属病院 乳腺外科

乳腺外科では当院乳癌患者における BRCA 遺伝学的検査およびリスク低減乳房切除術の現状に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

## 本文書の対象となる方

2020 年 1 月以降に当院で BRCA 遺伝子検査を受けた乳癌患者およびリスク低減予防切除術を施行した方

### 1. 研究課題名

「当院乳癌患者における BRCA 遺伝学的検査およびリスク低減乳房切除術の現状」

### 2. 研究期間

2026年承認日～2030年12月30日

この研究は、千葉大学医学部附属病院 生命倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

### 3. 研究の目的・方法

この研究は、当院乳癌患者のうち、BRCA 遺伝子検査を受けて遺伝性乳癌卵巣癌症候群 (HBOC) の診断がつき、リスク低減予防切除術 (RRM) を受けた方が対象です。

2020 年 4 月から、HBOC 患者のうち乳癌を発症した方への RRM は保険適用となりました。しかし、RRM を選択するまでの過程や患者背景については実態が十分に整理されて

いません。そこで本研究では当院での実施状況を明らかにし、今後の課題について検討することを目的としています。

#### 4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、既往歴、薬歴、家族歴、飲酒・喫煙などの生活習慣  
腫瘍径、分化度、組織亜型、脈管侵襲などの病理組織学的因子  
手術の内容（術式、手術時間、出血量、乳房再建の有無など）、術後経過（合併症の有無、退院までの期間など）、再発の有無、予後、リスク低減卵巣切除術の有無  
術前後に使用した抗がん剤の種類、治療感受性、副作用の有無

#### 5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 乳腺外科

研究責任者：講師 藤本浩司

#### 6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院乳腺外において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <https://www.chiba-u.ac.jp/about/disclosure/request.html>)

#### 7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

乳腺外科 講師 藤本浩司

043（222）7171 内線6731